

第Ⅱ問 経済学の基礎問題

解答に至った過程を明確にしながら、以下のすべての問題に答えなさい。

問1 国際貿易を開始する前の時点において、2国(A, B)とも完全競争下で2財(X, Y)を生産しています。そして、次の表にはそれぞれの財を1単位生産するのに必要な労働投入量(固定労働係数)が示されています。

	A 国	B 国
X	5	10
Y	20	50

1. どちらの国がどちらの財に絶対優位を持っているのか説明しなさい。
2. これら2国にそれぞれ100人の労働者がいるとき、両国におけるY財に対するX財の機会費用(限界変形率)を求め、どちらの国がどちらの財に比較優位を有しているのか説明しなさい。
3. 完全競争が機能している労働市場のため、同一国における賃金(w)には生産部門による差異はないものとします。貿易相手国の賃金を w^* とし、同様に、財の価格に上付き星印(*)がついたものを貿易相手国の価格として示したとき、両国における2財の価格(P_X , P_Y , P_X^* , P_Y^*)をそれぞれ式で表しなさい。
4. 比較優位のもとで国際貿易は常に行われるでしょうか? 国際貿易が成立するために必要な条件が存在する場合は、その条件を2財の相対価格を用いて答えなさい。

問2 完全競争下で生産されているある工業製品の需給をそれぞれ次のように表します。ここで需要はD、供給はS、価格はP(円)で記されています。

$$\text{需要: } D=100-P \quad (1)$$

$$\text{供給: } S=P/4 \quad (2)$$

1. この工業製品の均衡価格と均衡生産量を求めなさい。
2. 需要の価格弾力性の定義を記し、均衡点におけるこの価格弾力性を求めなさい。
3. この工業製品は原油(Oil)だけで生産されており、代表的企業の生産関数は $S=2\sqrt{\text{Oil}}$ で表されるとします。いま、原油価格を P_e とするときの総費用関数と限界費用関数を示しなさい。
4. この市場で操業する企業は、代表的企業の1企業だけとし、競争的に行動するものとします。原油価格が10円/Oilだけ上昇した場合、工業製品の均衡価格がいくら上昇するか計算しなさい。ただし、原油価格の変動は需要曲線には影響を与えないと仮定します。

問3 利潤を最大化する独占企業により生産されている財の市場を考えます。P が価格を示すとき、この企業の需要(D)曲線は $D=20-P/5$ で表されます。

1. この企業の需要曲線をもとに逆需要曲線と限界収入(MR)曲線を求めなさい。
2. 限界費用(MC)が $MC=10+20D$ で表されるとき、独占均衡価格と生産量を求めなさい。
3. ラーナーの独占度の定義を示し、独占均衡点から求められる独占度を計算しなさい。

問4 国内生産(Y)が民間消費(C)、投資(I)と政府支出(G)で構成される、次のような短期的閉鎖モデルを考えます。式(4)は可処分所得により決定される消費関数、式(5)は金利(r)により影響される投資(I)関数、式(6)は貨幣(M)需要式です。ただし、貨幣供給量は、 \bar{M} (一定)とします。また、係数 $0 < c < 1$ 、その他(b, d, e)、切片(a, C_0 , I_0)は正の値をとり、Tは租税、Pは物価水準を示しています。

$$Y = C + I + G \quad (3)$$

$$C = C_0 + c(Y - T) \quad (4)$$

$$I = I_0 - br \quad (5)$$

$$M/P = a + dY - er \quad (6)$$

1. このモデルは「三面等価の原則」を背景に構築されていると論じられています。経済学ではこの原則は何を示唆するのか説明しなさい。
2. 消費関数(4)をもとに限界消費性向と平均消費性向を求め、この2つの消費性向の相違点を述べなさい。
3. 貨幣需要と貨幣供給が一致する時のLM曲線とIS曲線をそれぞれ求め、縦軸がrで横軸がYの座標にIS・LM線の勾配と切片を明確にしながら可視化しなさい。
4. 「流動性の罫」とはどのような経済状況を表しているのかIS・LM曲線を用いて説明しなさい。
5. 流動性の罫に陥った経済を安定させるために有効だと考えられる政策を一つ説明しなさい。

以上